

平成18年第1回朝日町議会定例会会議録(第2号)

平成18年3月8日(木曜日)午前10時00分開議

議事日程(第2号)

第1 議案第1号から議案第28号まで

(質疑)

本日の会議に付した事件

日程第1 議案第1号から議案第28号まで

(質疑)

出席議員(16人)

1番	脇	四計夫	君	9番	河内	正美	君
2番	長崎	智子	君	10番	梅澤	益美	君
3番	水野	仁士	君	11番	中陣	將夫	君
4番	蓬澤	博	君	12番	松倉	彰夫	君
5番	脇山	勝昭	君	13番	吉江	守熙	君
6番	大森	憲平	君	14番	廣田	誼	君
7番	河内	邦洋	君	15番	稲村	功	君
8番	水島	一友	君	16番	松下	宏一	君

欠席議員(0人)

説明のため出席した者

町	長	魚津	龍一	君				
助	役	追分	悠紀夫	君				
教	育	長	永口	義時	君			
総	務	政	策	課	長	吉田	進	君
税	務	財	政	課	長	竹内	寿実	君

町民ふくし課長	林 和 夫 君
まちづくり振興課長	永 口 明 弘 君
産業建設課長	朝 倉 茂 君
教育委員会事務局長	稲 荷 優 君
あさひ総合病院	
事務部長	澤 田 雅 文 君
消防本部総務課長	善 万 敏 雄 君

職務のため出席した事務局職員

事務局 長	稲 荷 進
議事係 長	竹 谷 俊 範

(午前10時00分)

#### 開議の宣告

議長(梅澤益美君) 皆さんおはようございます。

ただいまの出席議員数は16人で、定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

#### 日程の報告

議長(梅澤益美君) 本日の日程は、議案第1号平成18年度朝日町一般会計予算から議案第28号地方自治法第179条による専決処分の件 専決第1号 平成17年度朝日町一般会計補正予算(第5号)までの28議案に対する質疑であります。

#### 質疑

議長(梅澤益美君) これより上程案件に対する質疑を行います。

ご承知のことではありますが、質疑に当たっては、挙手をするとともに、発言ボタンを押しいただきますようお願いいたします。

なお、質疑は簡潔に、また予算書については、最初に該当するページを言ってから質疑をしてください。

また、質疑に対する答弁は適切をお願いいたします。

順次発言を許します。

大森憲平君。

6番(大森憲平君) それでは、お伺いいたします。

まず、27ページの町税についてでございますが、個人滞納繰越分387万1,000円は何人分であるのか。また、この回収見込みはどのようになっているのかお伺いいたします。

次に、55から56ページで、総務費の安全安心なまちづくり事業の防災会議委員とはどのようなメンバーで、何人ほどおられるのかお伺いいたします。

それから、備蓄用……

〔「一遍にやると、わからなくなってしまうのでは」の声あり〕

6番(大森憲平君) 1つずつでいきますか。

議長(梅澤益美君) いいえ、いいです。

6番(大森憲平君) はい。

備蓄用資機材整備 148 万 4,000 円ですけれども、昨日の説明によりますと、食料、毛布等のようにお聞きしましたが、どのくらいの量をどのように保存されるのか、もう少し詳しく説明をお願いいたします。

それと、自主防災組織資機材整備事業 900 万の詳しい内容を、わかれば説明をお願いいたします。

そして、もう 1 点、防犯設備、新規 18 カ所と伺っておりますが、その場所はどこなのか。あと、総務費の企画費のほうでお伺いいたします。

59 から 60 ページで、補助金で、住宅用太陽光発電システム設備費 48 万。昨年度は 100 万ぐらいあったと思いますが、何戸ぐらいの申請で、昨年の実績はどうか。また、ことは 48 万ということで何戸ぐらいを予定しておられるのか。

それと、最後に、水博物館推進事業 125 万の内容を、もしわかれば詳しくお願いいたします。以上です。

議長（梅澤益美君） どうもご苦労さまでした。

最初に、税務財政課長。

税務財政課長（竹内寿実君） ただいまの町税の滞納繰越分の件でございます。

人数につきましては、ちょっと手元に資料がございませんので、また後ほどお答えしたいと思います。

回収の見込みでございますが、非常に厳しい面もあるわけでありまして。現在も努力中でございます。昨年度に比しまして、今年度は、滞納繰越分は上回る見込みかと考えております。

以上であります。

議長（梅澤益美君） 続きまして、総務政策課長。

総務政策課長（吉田進君） 1 点目の防災会議でありますけれども、予算上計上しております防災会議の委員の数は 14 名をみておりますが、官公庁等の方々については、その報酬を払わないということで 14 名分をここに載せております。

それと、備蓄のほうでございますけれども、備蓄につきましては、食料としまして、お米と水、これを 1,000 人分、それと毛布を 200、シートを 100 備蓄する予定としております。

それから、自主防災組織に対する支援でございますけれども、これは町内会が組織する自主防災組織に対しまして資機材の整備を行うための補助でありまして、予算では 1 組織 30 万円、30 組織で 900 万円を考えております。

それと、防犯灯でありますけれども、これは18灯ということであります。これにつきましては、どこというよりも当初予算、毎年新規切りかえの予算枠として18灯を予算計上しているということであります。

以上であります。

議長（梅澤益美君） 続きまして、水博まで、まちづくり振興課長。

まちづくり振興課長（永口明弘君） まず、住宅用太陽光発電システム設置補助でございますけれども、これにつきましては、NEF・新エネルギー財団の補助によってできておるものでございまして、その補助の単価が2万円に減額になってきたということで、大きく補助の費用が下がったものであります。

18年度につきましては、6戸程度を見込んでおります。

それから、水博につきましては、当初黒部市と入善町で黒部川の扇状地の水にかかわる調査・研究、それから水に関するイベント、そういったものを実施してこられました。フィールドミュージアムという構想のもとに進められておまして、その後宇奈月町が加入されて、現在は黒部市、入善町、宇奈月町の1市2町のほうで実施されております。

これを18年度から朝日町、それから魚津市に拡大して、広域圏内全域で水博について取り組もうということで、具体的な取り組みの内容につきましては、現在水博推進会議のほうで幹事会を設けて検討しておられまして、7月の総会で明らかになるものと思いますが、これまでの活動の内容を、基本的には朝日町、魚津市まで広げるというような流れの中で検討が進められているものと思っております。

以上であります。

議長（梅澤益美君） よろしいですか。

大森憲平君。

6番（大森憲平君） 町税のほうだけでも、努力しておられるとお答えされたのですけれども、これは納税されておる人に見ればまことに不愉快な件でございますので、鋭意回収されますようお願いいたします。

それから、安全・安心なまちづくりの件でございますが、防災のほうで、米と水1,000人分と今お答えされましたが、米ですと、これは1年で更新されていかれるのか。水ももちろん長期保存できないと思いますし、その都度ポリのタンクが何かに入れてもっておられると思いますが、そういう面はどのようなメンテナンスをされておるのか。

それと、もう1つ、自主防災組織の資機材の件でございますが、そのほうに30万ずつ30カ

所。ということは30カ所、今、防災組織が朝日町に組織されているということですね。それをちょっと詳しくお願いいたします。

それと、住宅用太陽光発電システムの件でございますが、18年度は6戸と言われましたが、私は先ほど17年度はどれぐらいの実績があったのかも伺いましたのですけれども、そのお答えがなかったので、どうなのか。その点、ちょっと詳しくお願いいたします。

議長（梅澤益美君） 備蓄について、総務政策課長。

総務政策課長（吉田進君） 防災の備蓄品でございますけれども、米と水につきましては、米はアルファ米ということで、水はミネラルウォーター、これはペットボトルに入ったもの、それぞれ5年間の保存期間がございます。

それと、防災組織でございますけれども、ちょっと先ほどの説明で抜けておりました。

これから立ち上げていただくと。各町内会を単位として、自主防災組織を立ち上げていただきまして、それに対する補助であります。

それで、どういったものかといいますと、初期消火とか救助救護、避難用という、そういった初期の活動にかかる資機材の整備に対して補助をするというものであります。

以上であります。

議長（梅澤益美君） 次に、太陽光発電について、まちづくり振興課長。

まちづくり振興課長（永口明弘君） 17年度も6戸ほどしております。補助的には、当初9万円の補助だったものが、昨年4万5,000円に、そして18年度については2万円に減額になってきておりまして、これで、18年度で打ち切りになる事業でございます。

議長（梅澤益美君） よろしいですか。

大森憲平君。

6番（大森憲平君） それでは、最後に総務費の企画費のほうですけれども、61ページ、管理用備品、17年度は667万6,000円あったのが、今度一気に78万円に下がった理由をちょっとお願いいたします。

議長（梅澤益美君） まちづくり振興課長。

まちづくり振興課長（永口明弘君） 当初管理用備品ということで、17年8月にいわゆる新たなシステムを導入することを想定しまして、昨年度はパソコン、プリンタ等の購入をしておりましたけれども、それがすべて終わりましたので、その分備品購入費用が減額になったというふうにご理解いただければと思っています。

議長（梅澤益美君） ただいまの答弁でよろしいですか。

6番（大森憲平君） はい。ありがとうございました。

議長（梅澤益美君） 脇山勝昭君。

5番（脇山勝昭君） では、131ページの中段にあります説明欄の中の小型動力ポンプ付積載車、600万1,000円ついておりますが、このポンプ車の詳細な機能とか、後これはどこに配車される予定なのかというのをお聞かせください。

その次は、146ページです。説明欄の上から2段目、シニア知的生活教室、その次シニア元気自慢教室。この対象年齢と内容、場所はどこでやるのかお聞かせください。

議長（梅澤益美君） 消防本部総務課長。

消防本部総務課長（善万敏雄君） 小型動力ポンプ付積載車につきましては、4輪駆動の普通車に小型動力ポンプを載せたポンプ車であります。乗車定員は6名であります。それから、排気量関係につきましては、おおむね2,500程度を見込んでおります。

どこに配備ということなのですけれども、消防団の一番古い車両のところに配備を考えているところであります。

以上です。

議長（梅澤益美君） 次に、教育委員会事務局長。

教育委員会事務局長（稲荷優君） シニア知的生活教室、それからシニア元気自慢教室でございますが、65歳以上の高齢者を対象としております。

場所ですけれども、各地区で行っていただきたいというふうに思っております。

内容につきましては、シニア元気のところはビーチボールとか健康につながるような事業をしていただくと。後、知的生活教室につきましては、各教養教室的なものを開催していただければというふうに考えております。

以上でございます。

議長（梅澤益美君） ただいまの答弁でよろしいですか。

ないですか。

河内正美君。

9番（河内正美君） 教育費の文化財保護費、ページが148から149にわたっているのですが、これは川上邸のところだと思うのですが、昨年設計書ができておるはずなのです。この提案に平面図ぐらい出して説明をお願いしたいと思うのですが、どういうものですか。

議長（梅澤益美君） 教育委員会事務局長。

教育委員会事務局長（稲荷優君） 埋文の収蔵庫につきましては、現在内容的なものを検

討中でございますので、どのようなものをつくるかの設計については、まだ委託はしておりませんので、これから発注をするところでございます。

議長（梅澤益美君） ただいまの答弁でよろしいですか。

河内正美君。

9番（河内正美君） よく調べなかったけれども、17年度で何か設計の予算をみてあったのではないですか。

議長（梅澤益美君） 教育委員会事務局長。

教育委員会事務局長（稲荷優君） 設計委託につきましては、17年度の予算でみております。それについては、今お答えしたとおり、まだ発注はしておりません。これから発注をする予定でございます。

議長（梅澤益美君） ただいまの答弁でよろしいですか。

9番（河内正美君） はい。

議長（梅澤益美君） 蓬澤博君。

4番（蓬澤博君） 予算書167ページなのですが、地方債の現在高に関する見込みというところでありますが、2年ほど前にも同じ質問をしておるのですが、きのういただいた第4次総合計画、これは数字だけの棒グラフになっておりまして、具体的に公債比率、ここ二、三年の推移とガイドラインがありますよね。そのあたりどういうふうになっておるか。ついでに、起債制限比率についてもお願いします。

議長（梅澤益美君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

税務財政課長。

税務財政課長（竹内寿実君） 公債費比率につきましては、平成16年度で21.2でございます。公債費負担比率につきましては、16年度で16.9となっております。15年度は、特にらくちんの、あさひ野小学校文教ゾーンあたりの償還が重なりまして数値が高くなっておりまして、17年で文教ゾーンの償還が終わりますので、安定した状況に入ってきているかと思えます。

以上であります。

議長（梅澤益美君） 蓬澤博君。

4番（蓬澤博君） 17年度はまだ決算が済んでいませんからということでしょうか、おおよそどんな感じでありますか。

議長（梅澤益美君） 税務財政課長。

税務財政課長（竹内寿実君） 17年度ではまだ、決算統計が出てからの数値であります、



見込みで見ますと、公債費比率は19%程度、公債費負担比率につきましては、17か16.9ぐらいかと思っております。

議長（梅澤益美君） ただいまの答弁でよろしいですか。

蓬澤博君。

4番（蓬澤博君） 公債比率がガイドライン15%ぐらい、制限比率が14%ぐらいというふうになっておりますが、かなり高めの数字であります。それで、これでいきますとやはり18年度にかなりの項目で償還がなされて、減っていくわけですが、比率が2年前とほとんど変わっていないということは、財政的にかなり厳しいところにあるかと思うのです。

このあたり、町長さん、どのようにお考えになっておられるか。

議長（梅澤益美君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

町長。

町長（魚津龍一君） 私は、数字はあまり強くございませんが、大丈夫だというふうに思っております。

議長（梅澤益美君） ただいまの答弁でよろしいですか。

蓬澤博君。

4番（蓬澤博君） 財政が厳しいときにも投資的支出は必要であるというのは認識しております。ただ、新聞等の見出しでいきますと、11.8%増とかなり増額しておるわけで、予算総額が対前年比膨らんでおるわけでありまして、残額が減りつつもかなり厳しい状況にあるというところを踏まえて、今後のいろんな施策に当たっていきいたいなど。そういう喚起だけをしておきたいと思えます。

議長（梅澤益美君） ほかに質疑ありませんか。

吉江守熙君。

13番（吉江守熙君） 1件、ちょっとわからないから質問するのですけれども、87ページの老人保健医療事業特別会計繰出金ですけれども、1億8,279万6,000円。これが老人保健拠出金のほうですか、184ページかな、それから183ページ……。この金はどこへいつておるのか、全くわからないのです。教えてください。

議長（梅澤益美君） 町民ふくし課長。

町民ふくし課長（林和夫君） ただいま調べますので、しばらくお時間をいただきたいと思います。

〔「議長」の声あり〕

議長（梅澤益美君） 町民ふくし課長。

町民ふくし課長（林和夫君） それでは、87 ページの老人保健医療事業特別会計繰出金の1億8,279万6,000円でございますが、これは老人保健医療事業特別会計におきまして193ページをご参照いただきたいと思います。193ページの目1、繰入金のほうで、今年度事業のほうで1億8,279万6,000円を説明欄に書いてございますとおり、町の一般会計からの繰入金ということで受け入れております。

議長（梅澤益美君） ただいまの答弁でよろしいですか。

13番（吉江守熙君） はい、わかりました。

議長（梅澤益美君） 水島一友君。

8番（水島一友君） 2点だけお願いをいたします。

まず1点目は、60ページの企画費。説明欄を見ていただきたいのですが、平成17年度はエコぼ～との管理部門の中で、2町の分が247万3,000円あったのですが、18年度では上がっていない理由。

それと、もう1点お願いします。

62ページの交通安全対策費。交通安全アドバイザーが平成17年度は40名で40万、今回20万8,000円になった理由。

2点、お願いします。

議長（梅澤益美君） まちづくり振興課長。

まちづくり振興課長（永口明弘君） 広域行政費の中で2町の分が計上されていないといいますが、東部清掃センターの解体にかかわる、いわゆる解体の調査、設計を昨年度実施しております、その分が完成しております、今度は事業費として上がっておりますので、その分がなくなっておるといふものであります。

議長（梅澤益美君） 次に、交通安全アドバイザーについて、総務政策課長。

総務政策課長（吉田進君） 交通安全アドバイザーでありますけれども、去年は40人、本年は26名でございます。これは富山県交通安全アドバイザーの市町村別人員が改正されて、市町村に交通安全のアドバイザーというのは、県から割り当てといいますか、人数が決まっております、朝日町の場合は、去年は40人、本年18年度実施するものから26名というふうにかわっておりますので、よろしく申し上げます。

議長（梅澤益美君） ただいまの答弁でよろしいですか。

8番（水島一友君） はい。

議長（梅澤益美君） 松下宏一君。

16番（松下宏一君） 18年度予算書83ページ、第3款民生費、第2項児童福祉費の新規事業、子育て支援事業、すこやか誕生券事業であります。大変すばらしい計画だというふうに思います。ここで、提案理由説明書の中にもありますが、すべての出生児に10万円の誕生券を贈るという建前であります。そこで、すこやか誕生券事業費に800万円が計上されております。17年度、出生数は出ておりませんが、16年度、15年度を見ますと、数字が合いません。17年度までの推移から見ての予算書だろうと思いますが、その根拠をお示し願いたいというふうに思います。

議長（梅澤益美君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

町民ふくし課長。

町民ふくし課長（林和夫君） すこやか誕生券事業でございますが、これにつきましては、出生奨励金制度ということで、第3子以降のお子さんが生まれた場合においてこれまで出生奨励金としてお出しをしておったところでございますが、このほど少子化対策の一環といたしまして、すこやか誕生券事業ということで、新たに実施をするものでございます。

先ほどもおっしゃいましたように、このすこやか誕生券につきましては、何番目に生まれたということは関係なくいたしまして、今後、誕生された方々についてすべて10万円相当の誕生券をお渡しするという制度でございます。

なお、ご質問のありました800万という数字の根拠でございますが、予算計上におきましては、80人分を想定いたしておるわけでございます。

平成16年度並びに平成17年度の誕生数値等との乖離ということのご質問でございますが、当町におきましては、各種の子育て支援事業策等を展開いたしておりまして、80名を見込んだものでございます。

議長（梅澤益美君） ただいまの答弁でよろしいですか。

松下宏一君。

16番（松下宏一君） すみません。できれば16年度、15年度、88、87という数字が残っておるはずであります。17年度、きょうという限らずですが、近々の数値を教えてくださいたいというふうに思います。

議長（梅澤益美君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

町民ふくし課長。

町民ふくし課長（林和夫君） ただいまの17年度の数字につきまして、手元に資料がござ

いませんが、おおむね60人台であったかと思っております。

議長（梅澤益美君） ただいまの答弁でよろしいですか。

松下宏一君。

16番（松下宏一君） ありがとうございます。

17年度、4月1日までですか、あるわけでありますが、今、60人台の出生数というような課長さんからの答弁でありました。

そこで、議案第14号、これは笹川、小川両保育所が休所から廃所になるという議案であります。実は、正式かどうかわかりませんが、17年度でといいましょうか、18年度が、泊東部保育所が休所になるというふうな流れになっているというふうに聞いております。児童数の減少から来るのだらうと思いますが、この東部保育所が休所になるというのはいたし方ないという点多々わかるわけですが、当局として説明責任というのか義務といいましょうか、町民に対してやっぱりあるのではないかなというようなことも思いますが、その点、これは事後でありますので、事前にそういうような流れとかは、これは質疑の範囲でしか聞きませんので、あるかないのか、当事者だけでいいのか、それとも今東部という箇所づけをいたしましたが、こういう保育所というのは学校と一緒に大事な問題だらうというふうに思いますので、そこら辺の担当課長さんの思いといいましょうか……

議長（梅澤益美君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

町長。

町長（魚津龍一君） 私は、すこやか誕生券の事業という80人、私の頭では2クラス、小学校の学級数は2クラス、これを望みとして計上させていただきました。

それから、小川保育所、それから笹川保育所につきましては、「園児が10人未満の保育所については」ということで、議会でも返す返す話をしておるわけでありまして、このたび泊東部保育所が6名であります。6名の親と話をさせていただきました。その結果、すべてひまわり幼稚園に通園させたいということでありまして、そういう意味では「議会に」というお話かもしれませんが、町の方針としては、「10人以下の保育所については」というふうにご理解をいただきたいと思っております。今ほど申し上げましたように、泊東部保育所の6名の親とご相談を申し上げて、保育所の通園について対処しておるところであります。

この後、各保育所につきましては、厳しい状況に相なるかと思っております。私も申し上げたと思いますが、ひまわり幼稚園を除いて一番新しい保育所は、小川保育所であります。大家庄保育所であります。あとは古いのであります。そういうことを考えますと、総合計画

の中であらうたっていると思いますが、保育所の問題については、保育所と学校、小学校と中学校、中学校と高校というものを念頭に置いて総合計画の実施計画をつくらなくてはならないのではないかなというふうに理解をしております。

この80人というのは私の思い、1クラス40人でございますから、2クラスいてほしいという願望であります。

議長（梅澤益美君） ただいまの答弁でよろしいですか。

ほかに質疑ございませんか。

〔「質疑なし」の声あり〕

議長（梅澤益美君） ないようなので、これをもって質疑を終結いたします。

#### 次会の日程

議長（梅澤益美君） 以上をもって本日の日程はすべて終了いたしました。

次に、次会の日程を申し上げます。

明9日及び10日、13日は議案調査日、14日は本会議を再開し、町政一般に対する代表質問を、15日は一般質問を行います。

なお、明9日午後2時から議会運営委員会を開催いたします。

町政一般に対する質問事項の提出締め切りは明日正午となっておりますので、質問される方は所定の用紙に質問の件名、質問の要旨、要旨の説明を明確にご記入の上、期限までに提出願います。

#### 散会の宣告

議長（梅澤益美君） 本日はこれをもって散会いたします。

どうもご苦労さまでした。

（午前10時35分）